

～令和6年6月静岡県議会定例会における質問～

質問者：杉山 淳 議員

質問日：令和6年6月26日（水）【3番目】

会派名：ふじのくに県民クラブ

| | |
|------|---|
| 項目 | 1 能登半島地震から明らかになった原子力防災の課題について |
| 答弁者 | 知事 |
| 質問要旨 | <p>今年元日に発生した能登半島地震では、土砂崩れや家屋倒壊により道路が通行できず、現場への到達が遅れたことにより、被害状況の把握や初動対応も遅れることとなったほか、自衛隊による支援も小出しになったことなどが報告されている。必要なボランティアの受け入れも当初自粛し、受け入れ可能になった後でも受け入れが遅れたことにより、必要な支援が届いていないとも指摘されていた。土地の隆起等による上水道、下水道の被害は特に深刻で、発災後5か月を経過していても復旧が進まず、水洗トイレ、お風呂が使用できず、著しい人口流出が続いている。</p> <p>この地震で、石川県志賀町では震度7を観測した。志賀町にある志賀原発の震度は5強であったが、原発及びその周辺では大きな被害が出ていた。当初原発の事故や被害は無しと報道されたが、1メートルから3メートルの津波が何度も到達し、変圧器の油漏れが2万リットル確認された。また、原発の7キロ先地点まで土地が隆起し、避難路の多くが通行止めとなっていた。さらに家屋の倒壊が多く、屋内退避が困難となっていた。</p> <p>東日本大震災以降、大規模地震のたびに原発の被害が大きく注目されている。静岡県では原子力災害対策の対象となる周辺自治体を31キロ圏内として、避難計画を策定しているが、能登半島地震を受けて、計画の再検討・再構築が必要ではないか。避難計画をはじめとした原子力防災の課題について、どのような対処をしていくのか伺う。</p> |

＜答弁内容＞

杉山淳議員にお答えをいたします。能登半島地震から明らかになった原子力防災の課題についてでございます。

浜岡原子力発電所における原子力災害に備え、平成28年3月に、県が浜岡地域原子力災害広域避難計画を、令和4年3月までに、原子力災害対策重点区域の11市町が広域避難計画を、それぞれ策定してまいりました。現在、県と関係市町の連携のもと、避難者受入マニュアル等の作成や冬季の降雪地域への避難方法等の課題に取り組み、避難計画の実効性の向上を図っております。

今回の能登半島地震では、北陸電力志賀原子力発電所が立地する志賀町で、最大震度7が観測をされました。放射性物質の放出を伴う原子力災害への進展はなかつたものの、周辺地域では、避難経路となる道路の寸断、屋内退避するための家屋の倒壊等、原子力防災上の新たな課題が浮き彫りとなりました。

これを受け、県では、避難経路の寸断に対して、関係市町と連携して取組を進めています。具体的には、避難経路に位置付けている道路について、土砂災害、津波、液状化等、地震による被災が懸念される地点を地図情報から洗い出し、各地点が寸断した場合の代替経路を設定しております。

また、家屋の倒壊により、自宅での屋内退避ができない方については、各市町が設置する避難所での屋内退避を実施していただくこととなります。このため、県では、避難所における屋内退避が円滑に行われるよう、関係市町と連携して食料や必要資機材の備蓄状況の確認を進めるほか、原子力防災訓練等で検証を重ね、避難計画へ反映してまいります。

なお、現在、国において、能登半島地震における原子力防災に関する検証が行われており、この結果を踏まえた対応についても、必要に応じて進めてまいります。

県といたしましても、能登半島地震から得られた教訓を踏まえ、原子力防災対策の更なる向上に、しっかりと取り組んでまいります。

以上であります。

| | |
|------|--|
| 項目 | 1 能登半島地震から明らかになった原子力防災の課題について【再質問】 |
| 答弁者 | 危機管理部長 |
| 質問要旨 | 計画の再検討・再構築が必要ではないかと質問したが、質問の趣旨としては大規模な地震があり課題が見えてきたのでしっかりとした再検討・再構築をやるのかやらないのかを含めて、やる場合はどんなことをやるのかをもう一度確認をさせていただく。 |

＜答弁内容＞

能登半島地震から明らかになった原子力防災の課題についての再質問についてお答えいたします。この能登半島地震では、避難路の寸断という課題と避難者が避難できなかつたという課題の2点の課題が挙げられているところでございます。この課題に対しまして、道路につきましては、土砂災害、津波、液状化等の懸念されている箇所を抽出し、しっかりと迂回路を選定していく、この結果を避難計画の中に取り込んでいきたいということでございます。また、家屋の倒壊によりまして避難ができないということに関しましては、避難所はしっかりと確保できているという状態ですので避難所の改善をしっかりとやっていくという2点でございます。

能登半島地震における原子力防災に関する検証は国で行われているところでございます。この検証結果と県の検討を併せて避難計画については県の避難計画も含めて再構築をしてまいりたいと思います。

以上です。